

授業科目 構音障害演習

【担当教員名】 西 尾 正 輝		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	前期 b	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 ディサースリア（Dysarthria、運動障害性構音障害）の評価技法について学ぶ。					
【学習目標】 1. 標準ディサースリア検査（AMSD）を適切に実施できる。 2. 検査結果を解釈し、治療プランを立案できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ディサースリアの評価概説				講義 西尾
2	標準ディサースリア検査（AMSD）：一般的情報の収集の仕方				演習 西尾
3	標準ディサースリア検査（AMSD）：発話の検査技法				演習 西尾
4	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 1				演習 西尾
5	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 2				演習 西尾
6	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 3				演習 西尾
7	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査技法 4				演習 西尾
8	まとめ				講義と演習 西尾
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準ディサースリア検査	西尾正輝	インテルナ出版	2004・5,700円
		発話メカニズムの解剖と生理	新美成二（監訳）	インテルナ出版	1998・2,800円
参考書					
その他の資料		必要に応じて、プリントを配布する。			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
定期試験とレポートにより成績を判定する。 小テストを実施した場合は、評価内容として重視する。さらに、授業態度、出席日数等も評価にさいして勘案しうる。		発話メカニズムの解剖と生理を習得しておくこと。また、聴覚的評価の演習と講義の復習を行うこと。			